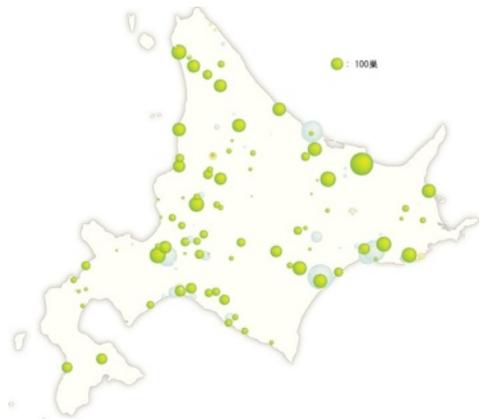


# アオサギ観察会

2013年6月21日

## アオサギの仲間たち

北海道では、サギといえばアオサギ。他のサギ類は滅多に見かけません。たまにいることがあっても、これまでは迷鳥扱いされるだけでした。まして、繁殖しているサギはアオサギと相場が決まっており、他のサギ類が営巣しているという話はこれまで耳にすることはほとんどありませんでした。右の図は2005年にまとめたものですが、こんなに多くのコロニーがあっても、そこで営巣しているサギはほぼ全てアオサギだったのです。



ただ、他のサギの繁殖事例がまったく

無かったわけではありません。なかでもゴイサギは小規模ながら道内数ヶ所で繁殖しています。今から約25年前、円山動物園のケージの外でひとつがい営巣したという記録があります。たぶんそれがもっとも古い記録なのでしょう。最近では2011年、篠路のアオサギコロニーで数つがい営巣しています。左の写真はその篠路コロニーでのゴイサギの様子。アオサギの巣の真下で育ったヒナたちです。

アオサギと一緒にコロニーをつくるのはサギの仲間だけとは限りません。たとえばカワウ。サギとカワウの混合コロニーは内地ではよくありますが、道内では2002年に七飯町じゅんさい沼で確認されたのが最初でした。カワウはその後、石狩川や天塩川などで分布を広げているようで、カワウ単独のコロニーも出来はじめています。写真は幌延町にあるカワウのコロニー。ここにはアオサギの姿も見られましたから、あるいは一緒に繁殖しているのかもしれません。



ところで、内地の人なら、サギと言えばシラサギをイメージする人が多いはずですが。北海道でもシラサギはたまに見かけますが、繁殖例となると1997年のたった1例しかありません。しかも残念ながら途中で失敗しています。ところが、今年、深川のアオサギコロニーにダイサギが来ているという嬉しいニュースが飛び込んできました。少なくとも6羽おり、実際に営巣したということです。たぶん今頃はダイサギ初の道産子が生まれていることでしょう。北海道のサギたちの世界、時とともに少しずつ変わってきているようです。